

ROOM 907

サンシティ G棟

ミサワホーム株式会社 A プロジェクト室 / 西澤徹夫建築事務所

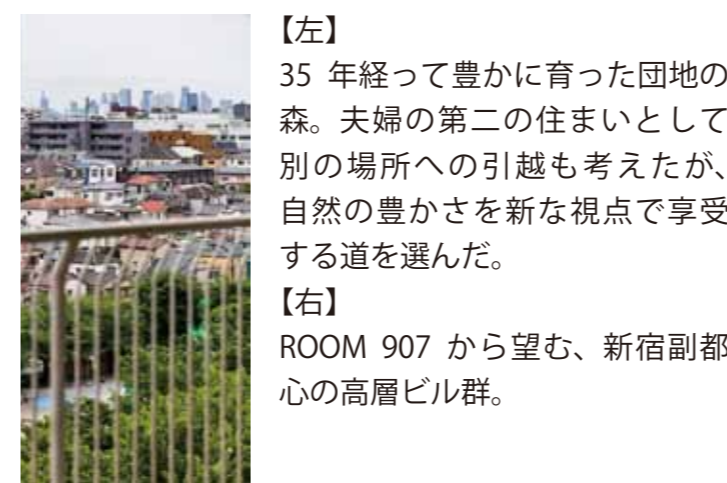
1980年竣工の分譲マンション。子どもが独立したあとの夫婦と、ときどき訪れる友人たち。静かな日常と賑やかな非日常のための全面改修を行った。狭かったキッチンを開クキッチンとしてリビングと一体とし、低かった天井は一部をのぞいてスラブ現しとすることで最大限の気積を確保した。それともなって電気、設備配管は床下配管としている。収納家具と建具はすべてタモによる造作とすることで室内全体を静謐な印象にまとめ、床仕上げの幅広のチークフローリング、白い壁、左官仕上げの柱、といった少ない素材間の緊張感を作り出した。またサッシはカバー工法により断熱化している。個室に分節した典型的な間取りから、どこにいても誰かの気配を感じるような空間への再生である。



▶ は、補足資料 A3 版のページを示す

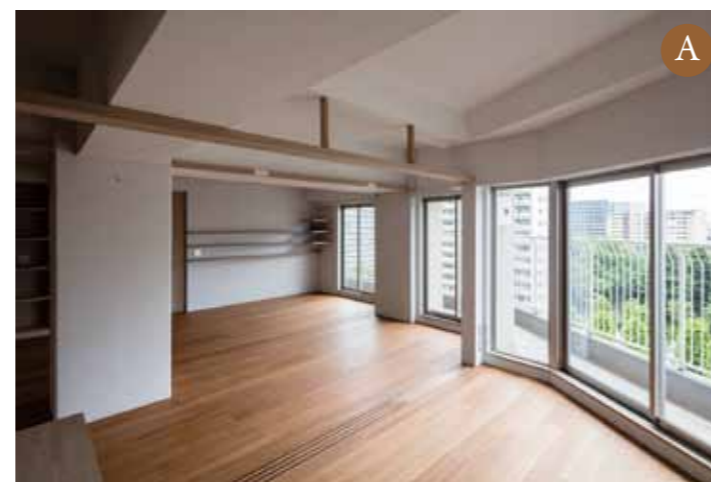
計画背景

昨今のリノベーションの社会的受容の広がり、事例やメディアへの露出の増加に表れている。住み慣れた環境に長く関わり続ける生活と家族構成の通時的変化を両立させる有効な方法としてリノベーションは今後も増え続けるのではないかと。本計画の団地は、竣工当時の庭園の森が大きく育ち、住環境にとって一層の価値を持っている。▶ 7 世代が変わっても住み続けられる環境であることは、都市にとってのリノベーションの意味も増大する。



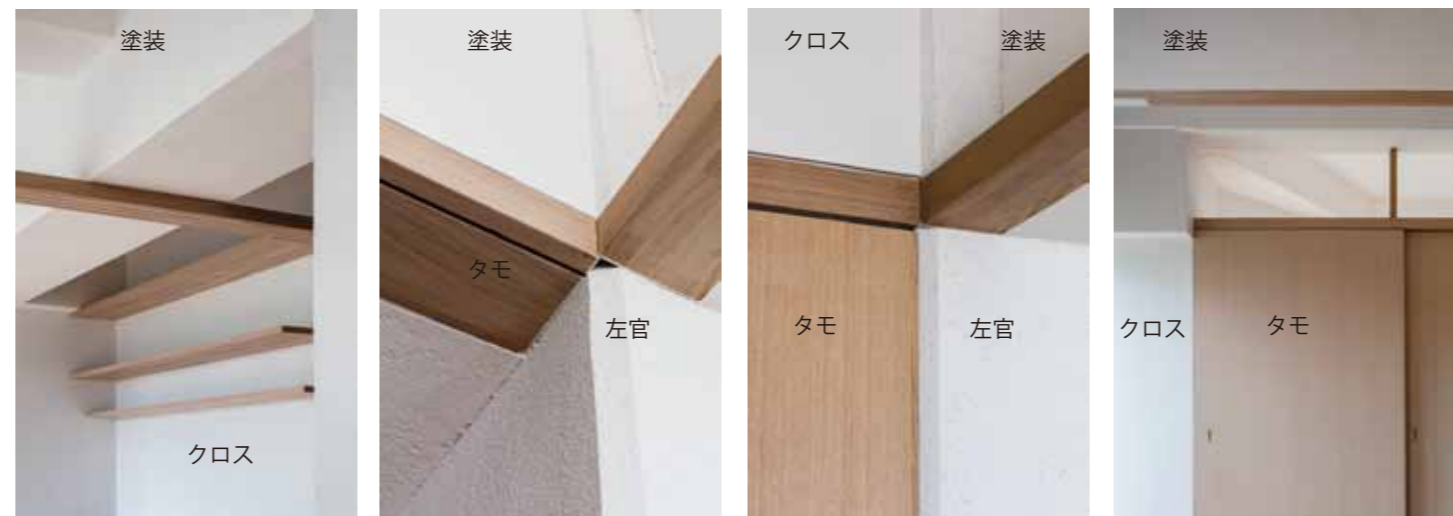
条件と要望

改修前は、複雑に雁行した平面を持ち、個室に分節された典型的な間取りで、東側のサッシも4つに分断されていた。主要な要望は、ここから可能な限り広いリビング・キッチン確保すること、友人を招いて料理を振る舞うことができる大きなオープンキッチン ▶ 4 を備えること、バリアフリーであること、相当量の貴重な器・食器、民芸品や土産物などの小物、書籍やアート作品、衣類のための大容量収納 ▶ 5 をつくること、持ち込み家具 ▶ 2 を違和感なく納めること、であった。そのうえで何よりも、それらが調和し、落ち着いた、静謐な空間を求められた。



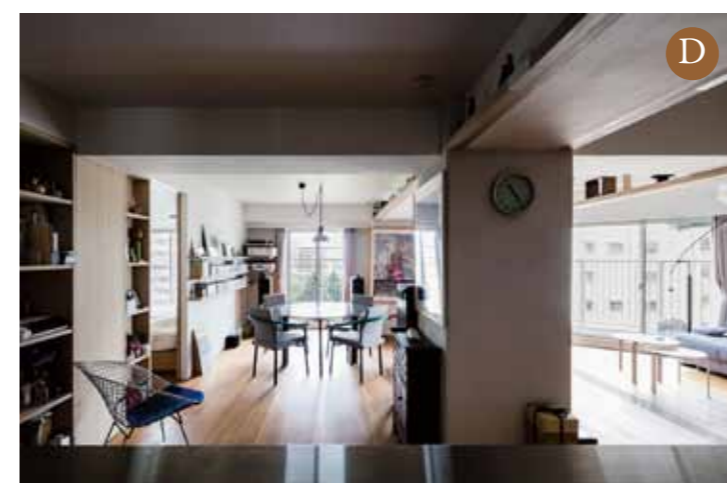
デザインの方針

露出する精度の低い躯体に対して、精度の高い家具と建具を造作してまわりつかけ、微妙な歪みを吸収させながらも、取り合いは常に角や面で合うように決められている。歪みを歪みとして見せながら、それでいて新しい秩序をもたらす、緊張感を作り出す。また、タモ材を室内全体のあらゆる造作（家具と建具）に用いることで全体に統一感をもたせた。室内の仕上げにはわずかにグレーの入ったクロス、塗装、左官を使い分け、同系の色で統一しつつも微妙な陰影や奥行きをつくりだした。▶ 6



配置と構成

離れていたキッチンを他の水回りと共に集約し、寝室のみ残して可能な限り大きくリビングとキッチンをとるよう配置を変えた。そうすると太くてスパンの短い柱がリビングの中央に取り残されるが、これをむしろリビングやキッチン、客間（引き戸を全開にすればリビングと一体になる）、玄関からの動線部分を緩やかに分節する機能を担わせることで、奥行きを持った回遊性のある空間を作り出すことができる。▶ 7 ▶ 8



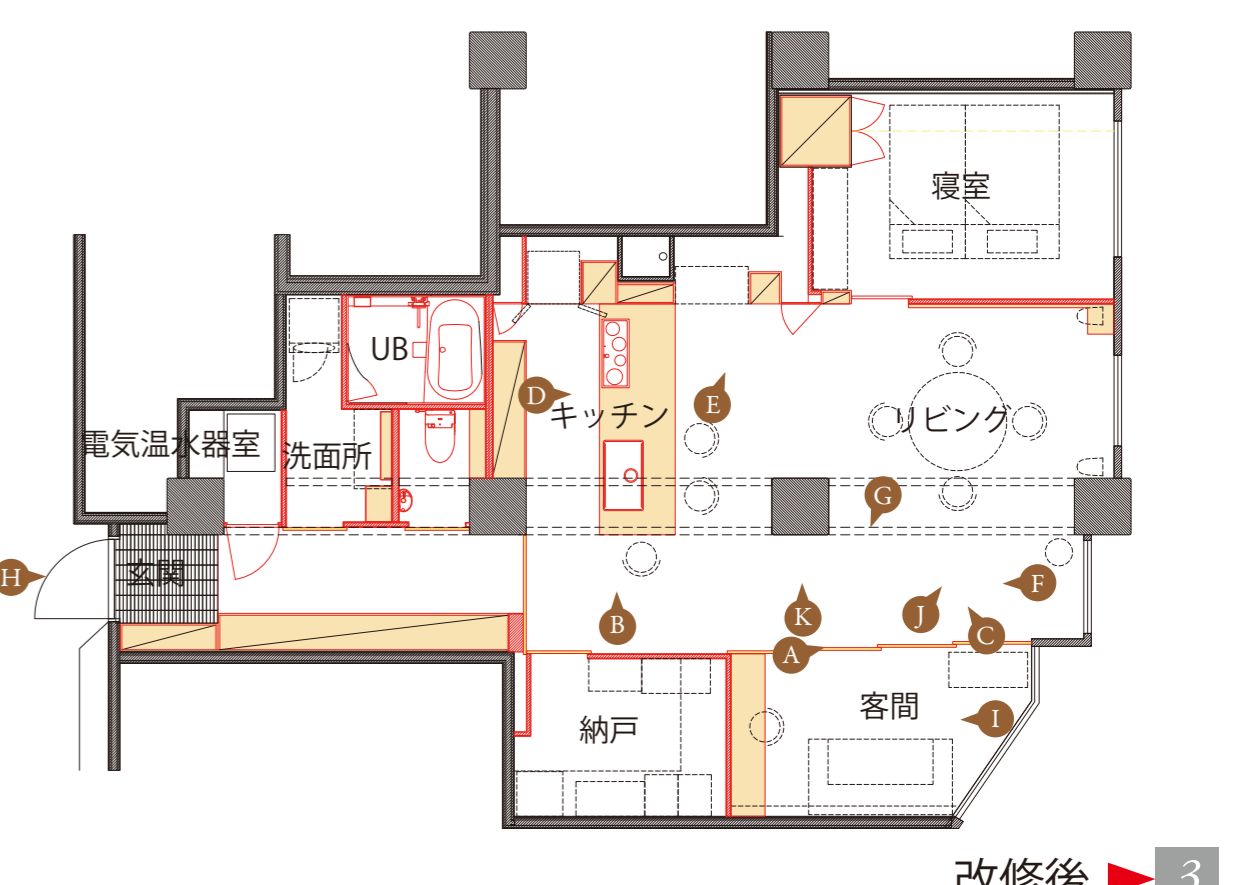
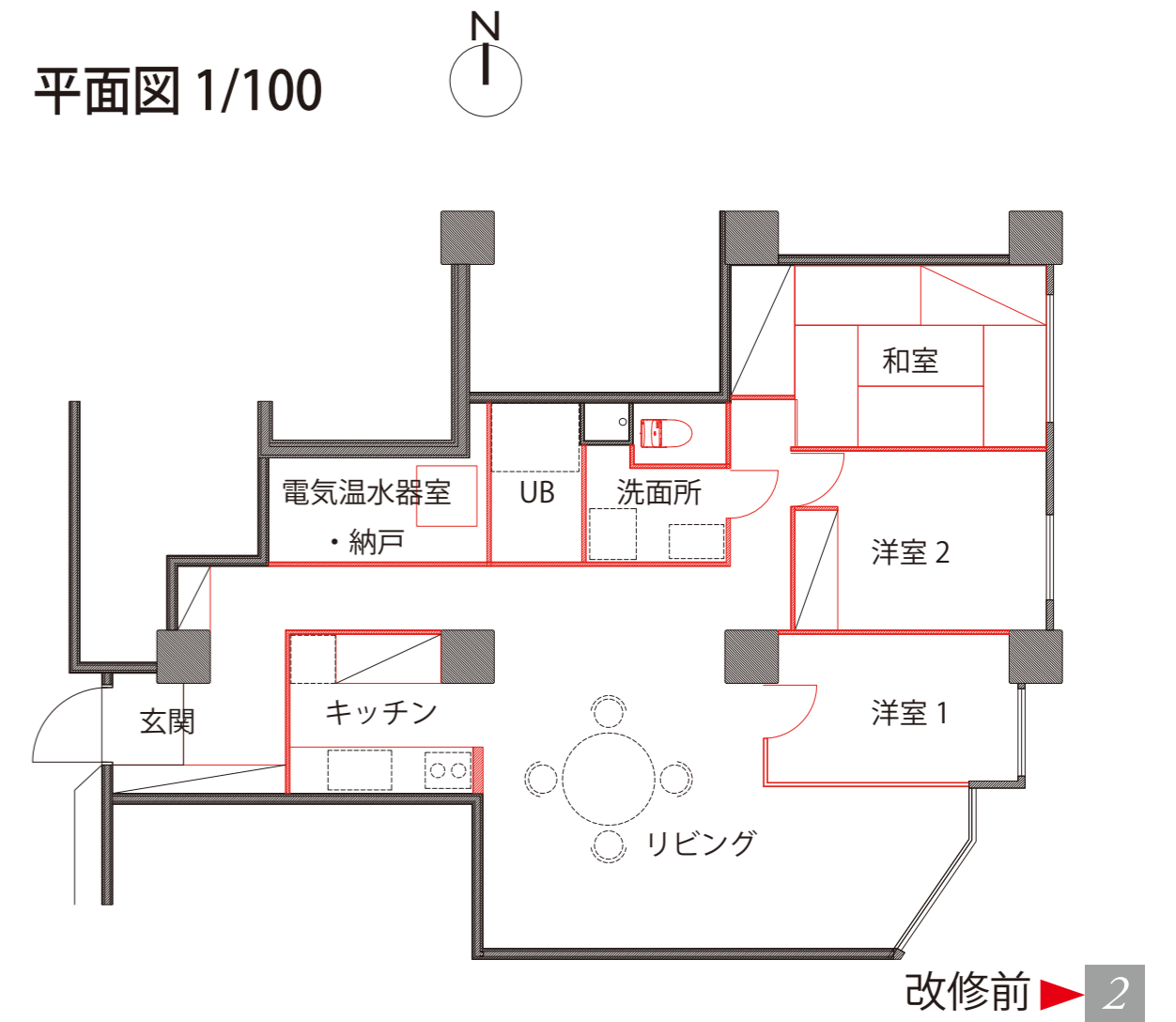
ディテールの工夫とアイデア



持ち込みの食器キャビネットと一体化しつつ、既存躯体にわずかに噛み合うような収まりのリビング・キッチン収納。梁に取り付けられたリビング・キッチンのアッパー照明兼小物棚。リビングと玄関を貫き、奥行きを与える。民芸品や土産物、食器など、長い間に集められた小さく雑多なものが等価に並べられる。リビング・キッチンのアッパー照明は、洗面所/トイレにも同じ方法で採用し、連続性をつくりだす。鏡や棚はタモ製。玄関小上がりを低くし、廊下を広くとった。正面に窓が見える。扉付き収納やウォークインクローゼット以外に、多くの小物棚を設け、クライアントがこれまでに収集してきた様々なものを自由にディスプレイ・レイアウトできるようにした。リビングの柱にはアート作品を掛ける。モノと生活と空間が渾然と一体になることで、雑多でありながら豊かで落ち着いた住まいとなった。

ROOM 907 の意義

マンションのリノベーションにおいては、新築や改修に比べて、空間の構成やダイナミックさといったフォトジェニックな質は得られにくい。しかし少ない要素（仕上げ、材料、外環境）の扱い方次第で、十分空間に特別な質を作り出すことが可能だと考えている。また、クライアントとの対話を通して常に変更しながら進んでいく現場の、一緒に作り上げていく感覚は、リノベーションならではの臨場感を持つものとなった。このことが示すのは、設計とは、「想像的に生活すること」なのであり、そこには当然 35 年間の歴史も包含されているはずである。



構造・規模：RC造 / 25階建て (1980年竣工)
面積：88.8㎡